



小 / 理科 / 5年 / 生物と環境 /
植物の花と実 / 理解シート

アブラナは、なぜ花が上であり、たねが下にあるの



1本のくきにたくさん花がついているときは、花にさく順番があり、アブラナは下から先にさいていくからだよ。

花のさく順には、いくつかのタイプがある

チューリップは、1本のくきに花が一つですが、たいていの花は、1本のくきに、多数の花がついています。くきに花がついていく順は、下図のようにいくつかのタイプがあります。花はできた順（花序^{かじょ}という）にさいていきます。

～ のように、花がくきの下から順にさいていくものは、数が多いです。

ギボウシの花は の例です。アブラナは のタイプになり、くきの下から出た花が先にさき、早く受粉^{じゅぶん}して実になるため、上の花がさいているころには、下の方は実になっているのです。 はコムギの花が例になります。 は、サクラソウやヒガンバナで、丸くかたまってつく外側の花からさいていきます。 は、ヒマワリやタンポポの花で、外側の花から、円の中心近くの花ほど、おそくさきます。

花が上からさくタイプもある

花のつき方もいろいろですが、下図の ～ のように上から順にさくものもあります。フリージアは になり、ナデシコは 、オミナエシの花は になります。

